

# 星座観察

標高250mに位置する当施設から眺める星空はひと味違います。季節に応じた星座を見つけながら、夏の大三角や冬の大六角（冬のダイヤモンド）などを観察することもできます。また、月の観察や惑星探しも可能です。荒天時は、パソコンを活用した映像で模擬体験をすることもできます。



## 活動のねらい

- (1) 星座や惑星，月を観察する活動を通して，自然の美しさや地球の動きを体感する。
  - (2) 宇宙に関する興味・関心を高める。
- ※ 学校の教育活動と関連付けて活動することもできる。

活動可能人数	40人	活動・季節条件	通年
所要時間	1～2時間	主な対象	小学生以上
実施場所	天文広場，つどいの広場	グループの人数	5人程度
導入指導	間接・講師	自然の家職員が各団体代表者に説明後，代表者から利用者に説明	

## 指導上の留意点

- (1) 物品の借用及び自然の家の職員との打合せを17時までに済ませてください。
- (2) 指導可能な指導者と同じ数のグループを作り，それぞれで活動した方が効果的です。
- (3) 当日の星空の状況を事前に把握しておいてください。（見える星座や惑星，月の状態など）
- (4) 天体望遠鏡を使つての観察は順番待ちになります。待つ時間を考慮して活動時間を設定してください。
- (5) フィールドスコープ，単体望遠鏡，双眼鏡や星座早見盤の操作方法を指導してください。
- (6) 荒天時の活動を準備しておいてください。（天体に関する視聴覚教材，クラフト活動等）
- (7) パソコンソフト（ステラナビゲーター）を利用する際は，事前に操作に慣れておく必要があります。職員へご相談ください。
- (8) 指導者は参加者の発表を受け，次の活動や日常生活に活かすことを促してください。
- (9) 講師を依頼した場合は，事前に講師と入念な打合せを行ってください。※別途，講師料が必要

## 準備物

### 自然の家が貸し出しできるもの

天体望遠鏡（取り扱いが分かる方のみ貸し出し可） フィールドスコープ 単体望遠鏡 双眼鏡 星座早見盤

### 利用者または団体で準備するもの

- 【参加者】懐中電灯（グループに1つでもよい） 防寒着（冬季）  
【引率者】懐中電灯 資料等

### 購入するもの・できるもの

なし

## 活動内容

- (1) 活動を確認し，天体望遠鏡等を準備する。
- (2) 星座や惑星恒星の等の話をする。
- (3) 星座早見盤の使い方を説明し，当日見える星座を調べる。
- (4) 天文広場（活動場所）に出て，星座観察をする。
  - ① 天体望遠鏡を使い，惑星や月を観察する。その際，視点がずれやすいので，天体望遠鏡にはふれないように事前指導する。また，観察している星が数分で天体望遠鏡の視野から移動するので，指導者が調整する必要がある。調整の仕方を教えておいてもよい。
  - ② 双眼鏡は脇を締めさせ，手ぶれができるだけ生じないような手立てが必要になる。数は多くあるので多くの参加者に使用させることができる。
- (5) 後片付けをする。
- (6) ねらいに応じた活動ができたか，参加者に感想を発表させる。